



学校だより

令和4年度 11月号
朝日みどり小学校
村上市中原2726
電話72-6665 FAX 72-695

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://midori-e.murakami.ed.jp>

「地域を愛する子」「思いやりのある子」「よいあいさつのできる子」

校長 鈴木 淳

少し前の話になりますが、第2回の学校運営協議会で委員の皆さんと「地域でどんな子どもを育てるか？」というテーマで話し合いをしました。2つのグループから共通して出されたのは、「地域を愛する子」「思いやりのある子」「よいあいさつのできる子」でした。

「地域を愛する子」



2学期は各学年とも地域を学ぶ学習に取り組んでいます。4年生は関口の海沼順一様を講師に迎えて、柿の収穫体験・さわし柿作り・干し柿作りに取り組みました。できあがったさわし柿は、給食でデザートにしたり、全校の皆さんにお裾分けしたりしました。3年生は鈴木いせ子様を講師に迎えて蚕の繭を使った、繭クラフトに挑戦しました。子どもたちの独創的な発想に講師の方からも「みんな上手」とお褒めの言葉をいただきました。5年生は宮村安二様の田圃で収穫した米を六斎市で販売

するとともに、お世話になった皆様をお招きしての収穫祭を予定しています。

「地域を愛する子」を育むために、今後も地域の皆様と関わりながら地域を学ぶ体験・学習を進めていきます。ご協力よろしくお願ひします。

※ 4年生の柿の収穫体験の様子をNHK NEWS WEBで見ることができます。「小学生が授業で地元産の柿の収穫体験 村上市」で検索してください。

「思いやりのある子」

全校朝会の際に、以前テレビCMで見た「人を笑顔にする算数」の話をしました。「人を笑顔にする算数」という言葉と「ほらやさしいでしょ」がとても気に入って、子どもたちにもぜひ伝えたいと考えていました。

困っているお友達がいたら助け合い、大変なことや面倒なことでも笑顔で引き受け、お友達同士がよく声をかけ合い、楽しいことも辛いことも一緒分け合うことができる。そんな思いやりのあふれる朝日みどり小学校にしていきたいと子どもたちに話しました。ご家庭でも、この「人を笑顔にする算数」を実践していただければと思います。

人を笑顔にする算数

「+」 助け合う
「-」 ひきうける
「×」 声をかける
「÷」 わけあう

それは思いやり算
ほら やさしいでしょ

「よいあいさつのできる子」

朝、バスから降りてくる子どもたちをバスロータリーで迎えて、あいさつをしています。飛び出すように降りてきて大きな声であいさつをする子、きちんと目を見てあいさつする子、満面の笑顔であいさつする子には、こちらも自然と笑顔になって気持ちよく「おはよう」の聲がかけられます。

中には、下を向いてあいさつをする子、元気がなく声が小さい子、あいさつが返ってこない子も見られます。しかし私は、そんな子ほど一番の笑顔で「おはよう」と声をかけます。それは、あいさつが気持ちのよい、うれしいものだと感じてほしいからです。



毎日あいさつをしていると、少しずつ声が大きくなってきたり、声が出なくても「にこっ」と笑顔を返してくれたりする子どもでできます。そんなときも、わたしは自然に笑顔になって「おはよう」の聲がかけられます。

あいさつは学校だけでなく、家庭や地域でもしていくことが大切です。子どもたちの成長を見守りながら、あいさつ・声かけを今後ともよろしくお願ひいたします。